

◆令和7年2月3日開催庁議◆

1. 市長挨拶

- おはようございます。かなり寒くなってきましたので体に気を付けてください。また、雪が少ない状況ですので、冬のイベントに影響するかもしれないが、支障のないよう中止・実施を判断してください。
- 予算がまとまりましたので明日から各会派に説明し、議会に臨むということになります。これまでの説明に変更があったところは、主要会派に説明していただきたい。
- 今年度もあと僅かとなりました。年度内に予定しているもの、来年度に向けて準備をしないといけないものについて、遺漏なきようお願いいたします。

2. 議事

(1) 令和7年度予算の概要について 【総務部】

◎資料P. 1～6について、市長説明

- ライフスタイルは多様化しているが、それぞれの市民の思いを実現できるような施策を展開していく、新たな未来を見据えたまちづくりを目指し、タイトルを「市民とともにまちの未来を展望する令和7年度予算 ～暮らしの安心・安全を第一に 市民それぞれが豊かなライフスタイルを求めるために～」と銘打った。
- 重点施策5本の柱に基づいて、令和7年度も施策を展開していく。
 1. すべての市民が健康で安心して暮らせるまちづくり
 2. 子どもの成長を見守り、安心して子育てできるまちづくり
 3. 快適で暮らしやすい生活空間を生み出すまちづくり
 4. 恵庭の資源を生かし、将来につなげるまちづくり
 5. 地球温暖化やデジタル社会に対応できるまちづくりこちらに掲げているもの以外にも、必要な事業については漏れのないよう、総合的な予算を編成している。

◎資料P. 7以降について、総務部長説明

- 一般会計の歳入歳出の総額は、360億6,300万円で、前年度比プラス13.4%、42億6,800万円の増となった。特別会計は5会計合計で、137億5,118万円、前年度比マイナス0.9%、1億2,397万円の減となった。公営企業会計は水道事業会計が23億9,241万円、下水道事業会計が52億5,881万円となり、全会計合計で574億6,540万円、前年度比プラス9.1%、48億750万円の増となっている。
- 収支状況について、経常・投資を合わせた収支差額は、マイナス7億8,761万円となっており、収支差額は、財政調整基金の繰入れによる財源対策を行う。財源不足としての繰入額は、5億9,500万円であり、前年度から1億1,100万円の増となっている。
- 「1款 市税」は前年比7.2%、6億3,069万円の増と見込んだ。個人市民税と純固定

資産税で増収を見込んだことが主な要因である。「2款 地方譲与税」から「9款 自動車税環境性能割交付金」までは、地方財政対策の伸び率を乗じて算出している。「12款 地方交付税」は、令和6年度の実績をベースに、人件費や一般行政経費の伸び率を見込み、増収と見込んでいる。

- 「15款 使用料及び手数料」は盤尻パークゴルフ場、墓園使用料収入、事業系一般廃棄物処分手数料の増により増収と見込んでいる。「16款 国庫支出金」は、自立支援給付費、児童手当、市民会館耐震化改修事業や公営住宅整備事業などの影響から増収と見込んでいる。「19款 寄附金」は、企業版ふるさと納税の減により減収となっている。「22款 諸収入」は、自治体DXの財源であるデジタル基盤改革支援補助金の減により減収と見込んでいる。「23款 市債」は、島松地区複合施設の建設や市民会館耐震化、救助工作車の更新などにより増収を見込んでいる一方、経常経費充当市債は臨時財政対策債が皆減となった。
- 「歳出予算の概要」について、款別では農林水産業費を除き、全体的に増加している。主な増要因として、総務費では島松地区複合施設整備や会計年度任用職員の給与等の改定により8億5,937万円の増額、民生費では、高校生児童手当の通年化や障害者給付費において報酬改定とサービス利用者数の増などにより7億5,966万円の増額、教育費では、市民会館の耐震改修工事の実施や小中学校の公務用パソコンの更新、GIGA端末の更新などにより12億7,547万円の増額となった。
- 「一般財源及び特定財源の内訳」について、一般財源で12億8,792万円の増加、特定財源では、29億8,008万円の増加となった。
- 「特別会計予算の概要」について、「国民健康保険特別会計」は、保険給付費が3,914万円の減額となった。被保険者数の減少による税収の減少も見込まれているが、現行の税率のままでも必要な税収は確保できる見込みであり、税率は据え置きとしている。「介護保険特別会計」は、第9期介護保険事業計画の2年目となるが、保険給付費では高齢化の影響からサービスの増加を見込んでおり、前年度比プラス0.7%、53億7,301万円となった。「土地取得事業特別会計」は、新たに奥御料線道路整備に伴う道路用地の先行取得経費や、土地開発基金の造成に伴い、新たに利子収入に係る歳入歳出予算を計上している。
- 「公営企業会計予算の概要」について、水道事業会計予算は前年比で1億7,563万円の増加となった。収益的収支の歳出で、委託料の増加を見込んだほか、資本的収支の歳出では、企業債償還金は減少するものの、老朽管の耐震化工事や河川改修に伴う橋梁添架管工事により増加を見込んでいる。また、下水道事業会計予算の予算規模は、前年比4億8,784万円の増加となっており、収益的収支の歳入では、一般会計繰入金が増加し、歳出では、処理場費において委託料が増加している。資本的収支の歳入では、企業債の借入額が増加し、歳出では、公共下水道整備費の増加を見込んでいる。
- 「第5期恵庭市総合計画に基づく主要施策の概要」については、一般会計の新規事業は

61件、拡大事業は37件、アクションプログラム事業は70件となっている。

- 「防衛施設周辺整備事業の概要」について特定防衛施設周辺整備調整交付金の予定事業で、予算額は、合計で3億6,781万円となり、騒音防止事業を予定している。なお、令和7年度の民生安定事業について市民会館耐震化等改修工事を予定しているが、2か年国債工事の支出割合が令和8年度に10割（全額）となり、令和7年度の補助金予算額がゼロとなったことから、表への記載はなし。
- 「特定目的基金の活用状況」について活用額は、合計で26億3,018万円となった。

(2) 令和6年の年次有給休暇及び夏季休暇の取得状況について 【総務部】

◎資料に基づき、総務部長説明

- 年次有給休暇取得日数は、14.93日（前年比0.19日増）となり、夏季休暇取得日数は、2.98日（前年比0.02日増）となった。
- 恵庭市特定事業主行動計画では、ワークライフバランスの実現のため、数値目標を年次有給休暇取得日数年12日以上としており、令和3年度から4年連続で達成することができた。今後も各所管においては、職場内で声を掛け合い、引き続き計画的な休暇取得の促進をお願いしたい。

(3) 在宅勤務試行実施について 【総務部】

◎資料に基づき、総務部長説明

- 在宅勤務制度の施行実施を開始する。在宅勤務を利用した職員には、業務の成果や達成度、コミュニケーションの状況などのアンケート調査を実施し、本格実施に向けた制度設計に活用していく。

【期間】 令和7年2月3日（月）～令和8年3月31日（火）

【対象】 会計年度任用職員及び定年前再任用短時間勤務職員を除く一般職の職員のうち、

- ①職員本人が感染症等を罹患し、所属長から3日以上の出勤停止命令がでている場合
- ②子の看護により3日以上のお暇を必要とする場合
- ③家族の介護により休暇を必要とする場合

(保健福祉部長)

在宅勤務を実施した場合、有給等休暇は取得する必要があるのか。

→業務を中断した時間分は各休暇を取得していただく。

(4) 市職員のフレックスタイム制度に関するアンケート調査について 【総務部】

◎資料に基づき、総務部長説明

- 令和5年12月から開始したフレックスタイム制度について、職員の利用状況を把握するためにアンケート調査を実施する。対象者は再任用短時間勤務職員、育児短時間勤

務職員、会計年度任用職員を除く全職員としているが、利用した職員は必ず回答していただくよう所属長に周知願う。

【期日】 2月14日（金）

（5）令和6年度ストレスチェック実施結果について 【総務部】

◎資料に基づき、総務部長説明

- 令和6年度ストレスチェックの受検者数は正職員・再任用職員・会計年度任用職員合計550名中、542名であり、受検率は98.5%と多くの職員が受けていただいた。
- 個別結果では、高ストレス者は62人で全体の11.4%となっており、前年度より減少し過去3年間の中で一番低い数値となった。高ストレス者については、現在、産業医面談等個別対応をしている。
- 集団結果について、市役所全体の健康リスクは、87であり、全国の平均的職場100と比較して、職場のストレスによる健康問題が生じる可能性が13%低い状態の判定であり、昨年度と比較すると健康リスクは減少し、地方公務業種と同等の平均値という結果となった。
- 集団分析は点数によって対策を講じなくてはならないというものではないが、職場の特徴を知り、ストレスの要因となる職場環境の改善につなげるというのもストレスチェック目的の一つとなる。各部長職宛てに結果を示すので、確認願う。
- 管理職やリーダー職を対象に、メンタルヘルスにおけるラインケアや日頃の対策など講義・ワークを通して学ぶことを目的としたメンタルヘルス研修を市民会館大会議室で開催するため、各部でも周知し受講願う。

【開催日時】 3月25日（火） 13時30分～15時00分

【申込期日】 3月12日（水）

◆令和7年2月17日開催庁議◆

1. 市長挨拶

- おはようございます。明後日から第1回定例会が始まる。今回は予算議会であるので、個別質疑や代表質問について、これまでの個別での議論などをしっかりと勉強していただいて、また、新しい事業等についても質問があるかと思しますので準備を怠らないようにお願いします。また、人事案件があり、副市長は引き続き横道副市長にお願いします。会派交渉会でも特段質問等はありませんでしたので、問題なく選任してもらえと思っています。
- 毎年ですが、議会開催中に人事の作業を進めている。病欠の方や産休はもちろん男性職員の育休ということもあり、人間的にタイトになることもあるが、制度の改正も含めて対処していきたいと思うのでご理解いただきたい。また、人事異動で限られた人員の中での配置となるので、その点についてもそれぞれ思いはあろうかと思うが、全体として

考えたものになるのでご理解いただきたい。

- 年度末になり、あと1か月半で今年度が終わる。年度内の作業や来年度に向けた準備をよろしく願いしたい。令和6年度を問題なく終了したいと思いますのでご尽力をお願いします。

2. 議事

(1) 各計画等における年度表記について 【総務部】

◎資料に基づき、総務部長説明

- 各計画の年度表記について、今まで和暦のみ表記していた計画についても、西暦を並列表記してはどうか。みなさんのご意見を伺いたい。

(保健福祉部長)

文中全部にいれると逆に読みにくくなることもあるかと思うので、対象箇所が多すぎる場合は見やすさも考慮し柔軟な判断をさせていただきたい。

(市長)

議会からも指摘されたことがある。計画書内全てで表記するのは難しい場合もあるかと思うが、表紙だけでもやった方がよい。